

プログラム運用の基本方針

「最先端研究開発支援プログラム」の運用に関する以下の基本方針を規定

プログラムの目的

研究者がその能力を最大限発揮できるよう、「研究者を最優先」した従来にない全く新しい研究者支援のための制度の創設

- 研究サポートチームの結成による研究者が研究に専念できる体制の確立
- 研究者にとって自由度の高い多年度にわたる研究資金の確保

世界のトップを目指すための研究者及び研究課題の選定

- 科学技術の分野における我が国の代表的研究者若しくは本プログラムの実施により我が国の代表的研究者となることが期待される研究者(中心研究者)
- 新たな知を創造する基礎研究から出口を見据えた研究開発まで、さまざまな分野及びステージを対象とした、3～5年で世界のトップを目指した先端的研究課題

本プログラムを推進し、世界のトップの研究開発成果を得ることによって、産業、安全保障等の分野における我が国の中長期的な国際的競争力、底力の強化を図るとともに、研究開発成果の国民及び社会への確かな「成果還元」を図ることを目的とする。

プログラム運用の基本方針

プログラムの進め方

Step1

中心研究者及び研究課題の選定

我が国の代表的研究者(中心研究者及び)研究課題の公募

ワーキングチームで、中心研究者候補及び研究課題候補を絞込み

最先端研究支援会議で、中心研究者案及び研究課題案をとりまとめ

総合科学技術会議で、中心研究者及び研究課題を決定

Step2

中心研究者による研究支援担当機関の指名

選定された研究課題の研究支援担当機関を公募

民間、独立行政法人、大学等から研究本体及び研究管理を行うサポート体制の提案

複数の候補から、中心研究者により研究支援担当機関を指名

Step3

研究開発及び事後評価の実施

中心研究者、研究支援担当機関を中心とした研究開発の実施

総合科学技術会議によるフォローアップの実施

3～5年間で世界トップの研究成果を達成

総合科学技術会議による事後評価の実施

総合科学技術会議の意見具申

多年度にわたる研究開発資金の提供

日本学術振興会

先端研究助成基金